

# 令和8年度武蔵村山市立第三中学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立第三中学校

校長名 井内 潔

## 教育目標

社会の一員として主体的に行動する中学生の育成  
○ 学ぶ三中 ○ 思いやる三中 ○ 鍛える三中

## 1 目指す特色ある学校像

教育目標具現化のために、生徒一人一人が社会の一員として自覚をもち

- (1) 生徒が自ら社会に貢献する生き方に夢や目標をもち、その実現を目指し意欲的に活動する学校
- (2) 生徒が夢の実現のために、自ら学ぶ意欲をもち、主体的に学習する学校
- (3) 生徒が自らを律するとともに互いの人権と個性を尊重し、生き生きと生活する学校を目指す。

## 2 経営の具体策

### (1) 中期的目標

- ①コミュニティ・スクールとして、地域の方や関係小学校との連携を密にし、教育目標の具現化を目指す。
- ②キャリア教育を充実させ、日々の学習や活動への意欲や主体的な姿勢を育む。
- ③DXを推進させることで授業改善を図り、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指す。また、人材等有効活用し、教員の働き方改革をさらに推進する。
- ④道徳教育や特別活動、特別支援教育、生活指導を充実させ、生徒が自他を尊重しながら生き生きと意欲的に生活する学校づくりを推進する。
- ⑤まちづくり学習（ゼロカーボン学習等）、生徒の体力向上・健康保持、食育を推進する。
- ⑥不登校生徒、保護者に寄り添った指導、支援を行うチャレンジクラスや別室をより充実させ、不登校生徒を減少させる。また、生徒が主体的に学習に取り組めるよう授業や行事を工夫し、登校意欲の向上を図る。

### (2) 本年度の目標

- ①学校運営協議会や地域と連携を図り、協働して小中一貫教育を推進する。
- ②保護者や地域社会、関係機関と連携し、キャリア教育を充実させ、社会人、職業人としての基礎的・汎用的能力を養う。
- ③DXを推進し、教育の質の向上を図るとともに教員の働き方改革を進める。
  - ・一人1台端末等のICT機器を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実させ、基礎学力の定着を図る。ICT支援員等を最大限活用し、教員の授業力を向上させるとともに在校時間を減らすなど働き方改革を進める。
- ④生徒が自他を尊重し、認め合う姿勢を育成することで、生き生きと意欲的に生活する指導を推進する。
  - ・組織的・計画的な道徳教育・生徒指導を通して「いじめや暴力を否定する教育」、「体罰やハラスメント等を絶対許さない」指導を徹底する。また、学校の教育活動全体を通じて道徳性を養い、「思いやりを実践する社会貢献教育」を推進する。さらに、受容的・共感的な生徒理解を基盤とした教育相談活動を充実させ、不登校生徒の予防と減少を図るとともに、特別支援教育の理解と推進に取り組む。
- ⑤まちづくり学習（ゼロカーボン学習等）、生徒の体力向上・健康保持、食育を推進する。
- ⑥不登校生徒が登校しやすいチャレンジクラスや別室の充実を図る。そのために、生徒や保護者へ寄り添った指導、支援と教育相談活動をより一層推進する。

## まちづくり学習の推進に向けた方策

- (1)まちづくり学習の一環として、ゼロカーボン学習に取り組み、SDGs（環境教育）に対する知識を高める。
- (2)まちづくり学習での取組を学校だよりやXなどで発信したり、発表会等を行ったりし、保護者や地域に周知していく。また、学校運営協議会でもその取組を紹介する。
- (3)3年間の取組を計画的、組織的に進め、主体的に考え、自ら行動する力や他者と協働する力を育成していく。

## 小中一貫教育推進に向けた方策

- (1)三中校区合同研修会を年2回開催する。夏季休業中に分科会形式での打ち合わせや、2学期に研究授業・協議を実施し、小中合同の授業実践、交流を図る。
- (2)三中校区としてふれあいフェスティバルなどの小中合同の行事を通して、小中学生、教職員、地域が交流し、相互理解を図る。